

企 第 344 号
令和8年2月27日

宮古市議会議長 橋本 久夫 様

宮古市長 中村 尚道

第21回議会報告会で出された市行政に対する要望等について（回答）
令和8年1月16日付宮議第138号にて報告がありましたこのことについて、下記のとおり回答いたします。

記

1 クマ・有害鳥獣対策の強化について

【要望事項】

このことについて、市民から「市としてガバメントハンター（職員ハンター）の育成を検討できないか。」と要望がありました。

議会では、報告会の場で「職員ハンターの育成は時間がかかる見込みで、現段階では即時の対応が困難である」旨を市民へ回答しましたが、猟友会との連携等を含めた今後の体制強化について検討するよう要望いたします。

【回 答】

緊急銃猟の実施にあたり、宮古地区猟友会員の中で、狩猟免許を所持するとともに、銃猟等射撃指導員若しくは鳥獣被害防止対策実施隊長からの推薦のあった者を非常勤職員として雇用し、捕獲者とする予定としております。

また、現在、銃の所持資格を持つ職員2名を捕獲者として配置する予定としております。

2 公共交通の確保・冬季の移動手段の早急な改善について

【要望事項】

このことについて、市民から「崎山（箱石地区）は、バス停から自宅までが遠く50分以上歩き、タクシーの利用は1万円以上かかるため現実的でない。また、冬季に日陰が凍結し徒歩移動も困難なため、公共交通の確保及び冬季の移動手段の早急な改善をお願いしたい。」と要望がありました。

議会でも、地域の実情に合わせたより安全な移動手段を確保すべきと考えることから、早急な改善について検討するよう要望いたします。

【回 答】

崎山(箱石)地区における公共交通の確保及び冬季の移動手段に関するご意見については、地域の実情を踏まえた重要な課題であると認識しております。

市ではこれまで、みやこ北部地域包括支援センターや自治会と連携し、アンケート調査や協議を重ねながら、移動手段の確保に向けて検討を進めてまいりました。

現在は、具体的な導入手法について提示を行い、実施に向けて自治会との協議を予定しております。

引き続き、地域の移動課題の解決に向け、自治会及び関係機関と連携しながら、取り組みを進めてまいります。

【担当】

企画部企画課企画創生係

係長 竹田 真吾 (内線 4614)